

病院総合診断システム「HSST SYSTEM」

概要と特徴

1つの症状、例えば、肩こりが目（眼科）、内臓（内科）、歯の噛み合わせ（歯科）、あるいは、外科からくるのかを総合的に診断補助できる病院総合診断システム。

医療技術を最高の効率で且つ最も安価に提供できる。汎用性に富み様々な形での通信が可能で各種規模の病院に使用可能。地方医療の情報共有化が図れ、調査研究に活用可能。患者の時間と費用負担が大幅に削減できる。より良い医療技術をより早く、より正確に、より詳しく得ることが可能。

【マスタメニュー】



用途

- (1) 中小規模病院
- (2) 科ごと間、同系列病院間、大学病院内、学会対策病院、地方病院対都心の病院等
- (3) レセプトのみ、投薬のみ等の単独性ではなく、診断支援という医療本来のシステム用

技術移転

- (1) 形態 共同研究開発 生産委託
- (2) 相手先 企業規模不問（医療部品メーカー）
- (3) 地域 国内外いずれでもよい

実用化・情報

[試作・実験] 完了
 [製造・販売実績] 有
 [技術情報の提供] 技術資料、サンプル、その他
 [連絡先] (株)パークテラ
 〒105-0004
 東京都港区西麻布4-8-10 第2パークテラ1F
 TEL.03-5466-1055 FAX.03-5466-1181

特許等

なし